

**令和元年
アレルギー疾患対策都道府県拠点病院
モデル事業報告**

国立病院機構三重病院

アレルギー相談センター事業

- アレルギー疾患の生活指導を受けることができない患者のために
- 不安を抱えている患者のために
- 週2日 月曜日・木曜日（祝日を除く）13:00～16:00
- 相談員として看護師1名が電話対応
- 相談室長：アレルギー科医長、センター長：病院長



実績：2019年4月1日～2020年3月31日

相談件数：458件

内訳：

食物アレルギーに関すること257件（56.1%）

喘息に関すること73件（15.9%）

アトピー性皮膚炎に関すること28件（6.1%）

その他 100件(21.8%)

...蕁麻疹13件、アレルギー性鼻炎13件

薬物アレルギー4件、蜂アレルギー3件、

金属アレルギー3件

ワクチン副反応3件、その他 7件

居住地の近くにアレルギー専門医が不在である方からの相談が多かった。

2) 地域の医師等に対するアレルギー研修会

令和元年度 三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修

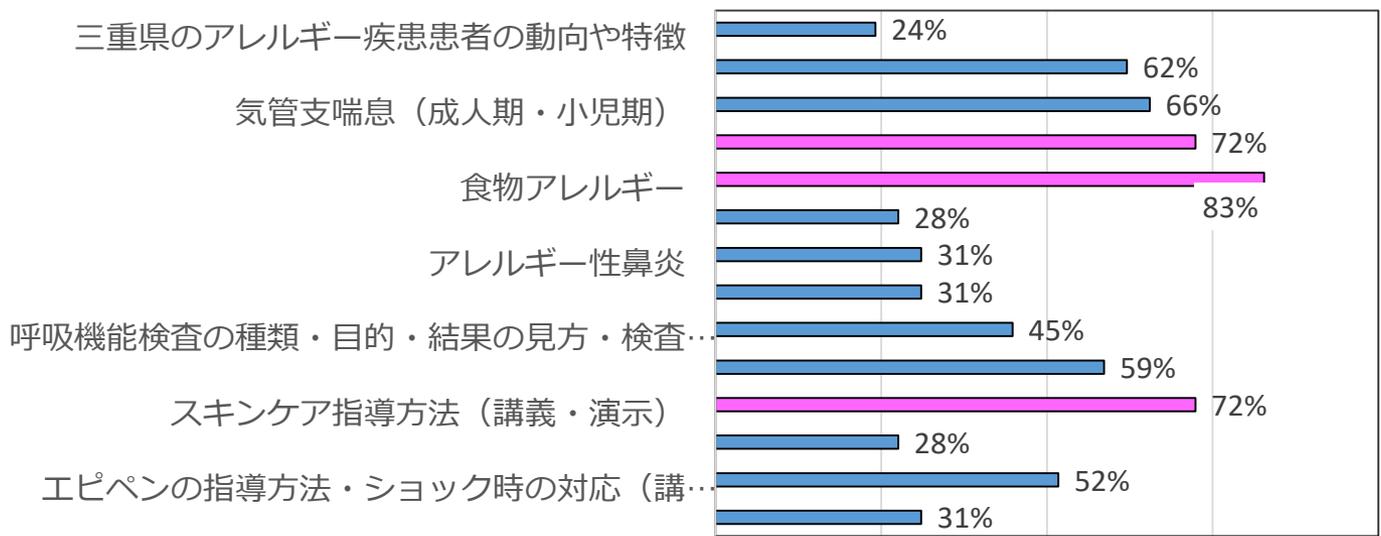
4日間のコース（後半はウェブ）

参加登録 35名、全コース修了者 34名

薬剤師
看護師
が中心

現場で活用できた研修内容

0% 25% 50% 75% 100%

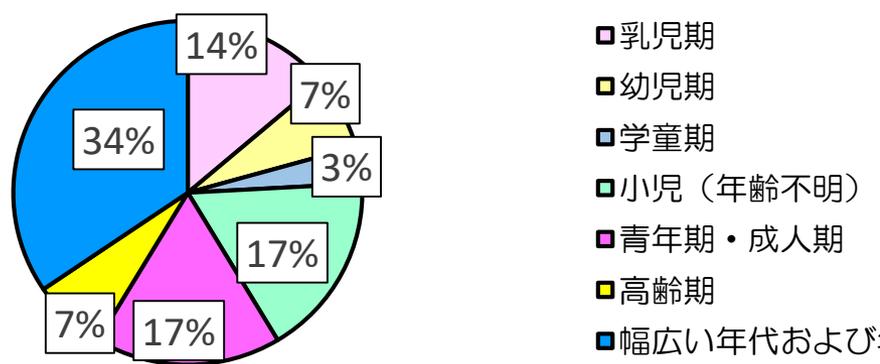


熱心な受講態度
現場の実例に基づく質問

活用できた内容
食物アレルギー
アトピー性皮膚炎
スキンケア
が多かった

* 複数回答

研修内容を活かして現場で実践できた対象の年齢層



幅広い年代に
活用がされた

R2年度より
三重県の事業
として継続

出前セミナー

イオンモール東員

R1.12.1 172名の参加



アレルギー診断センター

NHOネットワーク

原因不明
稀少アレルギーによる
アナフィラキシー

各施設での
検査

詳細な問診
既存検査

中央検査

好塩基球活性化試験
アレルギーアレイ検査 (112種)
バイオマーカー

診断委員会

アレルギー診断に精通した
専門医

確定診断

稼働開始!!

34例の「原因不明」アナフィラキシー



原因特定28例

レジストリー

解析

アレルギー診断パネル

将来の治療開発
予防・適切な管理
診断体制の整備

国立病院機構共同臨床研究事業 免疫・アレルギー領域
「稀少アレルギーによるアナフィラキシーの実態解明と診断法確立に関する研究」
研究代表者：星みゆき
(国立病院機構三重病院)